

世界銀行「防災グローバルフォーラム2024」

1か月前イベント **入場無料**

ひめじ防災講座

令和6年5月18日 午後2時から
午後3時30分まで
開場 午後1時30分

姫路市神屋町143-2 アクリエひめじ4階 会議室407、408

定員 **170名**

4月30日午後5時までに
FAX もしくは、メールにて
申込をお願いします。

近年、豪雨災害や台風、大規模地震などの自然災害による深刻な被害が全国各地で発生しています。本市においても、活断層である山崎断層帯を直下に抱え、また、南海トラフ地震の発生も危惧されています。このような中、2025年には阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるにあたり、2024年6月に本市のアクリエひめじをメイン会場として、「防災グローバルフォーラム2024」が行われます。その関連イベントとして、「ひめじ防災講座」を開催し、災害に対する市民一人ひとりの危機意識を高め、地域防災力の向上を図ります。

第一部

地域での防災・減災を考える —過去の経験・教訓を繋いでいく

我が国では、阪神・淡路大震災、東日本大震災など自然災害が過去に突然発生しており、多くの経験や教訓が残されています。今後も、地域で防災・減災は大切ですが難しい課題もあります。どのように協力して進めたらよいか?について、併に考えたいと思います。

講師 今村 文彦 氏

第二部

子どもの防災意識の育成 —東北大学「結」プロジェクトの推進

東日本大震災の経験から生まれた「結」プロジェクトを紹介します。最新の科学技術の成果も活かし、知識だけではなくいざという時の判断力の向上を目指します。

講師 保田 真理 氏

第三部

姫路商業高校地域創生部の防災に関する取組み

大震災の教訓を100年先の未来へ
～「繋ぐ・伝える・備える」命の語り部Project～

講師 今村 文彦 氏

東北大学災害科学国際研究所教授、前所長

東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同大学院附属災害制御研究センター助教授、同教授を経て、2014年より2023年まで災害科学国際研究所所長。

主な専門分野は津波工学(津波防災・減災技術開発)、自然災害科学。東日本大震災復興構想会議検討部会、中央防災会議東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会などのメンバー。現在、復興庁復興推進委員会委員長、一般財団法人3.11伝承ロード推進機構代表理事、土木学会副会長など。



講師 保田 真理 氏

東北大学災害科学国際研究所 プロジェクト講師

東北大学大学院情報科学研究所博士後期課程修了。同大学院附属災害制御研究センター研究支援員、2012年より2017年まで災害科学国際研究所助手。主な専門分野は防災教育。2014年より現在まで東北大学減災教育「結」プロジェクト出前授業を実践。



- 姫路駅から徒歩約10分
- 駐車場の台数には限りがあります。公共交通機関のご利用にご協力ください。
- 詳しくはアクリエひめじ公式HPをご確認ください。

アクリエひめじ公式HP
<https://www.himeji-ccc.jp/access.html>

